

# 令和6年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位:円)

サービス区分	事業内容	予算額	決算額
法人運営事業	1 災害援護事業 1)不幸にして災害により住居に被害があった世帯へ災害見舞金を贈った。 0件(0件)	30,000	0
	2 物故遺族に対しての弔慰を表す事業 1)町民物故者の葬儀に伴う返礼用はがき印刷費を負担し生前の功労に感謝の意を表した。 はがき利用件数      2件 500枚 (22件5,300枚)	342,000	14,000
	3 路上生活者の支援事業 1)所持金をなくし、白老町に立ち寄る路上生活者等に対して、隣町までの旅費を貸付けた。      貸付件数 7名(4名)	10,000	4,900
	4 地域福祉団体への助成事業 1)町内の地域福祉推進のため率先して活動している団体を支援した。      ①高齢者クラブ連合会 ②白老町遺族会	347,000	257,909
	5 地域支援事業 1)小地域ネットワーク活動の推進 高齢化社会に対応するため、町連合、民協、その他関係団体との連携を密にし、福祉ネットワーク(ふれあいチーム)づくりを全町に普及し、一人の不幸も見逃がさない組織づくりを推進した。 63町内会 4,837世帯 (64町内会 5,021世帯) 2)行事用テント、トラックの貸出 テントを町内会等へ貸出した。9件 36張(5件21張) 2tトラックを町内会等へ貸出した。118件(109件) 3)福祉機器の貸出 要介護状態で在宅生活を送るのが困難な方のために福祉機器を短期で貸出した。 車椅子                      42件(46件) ポータブルトイレ      4件(8件) その他                      10件(7件) 4) 無縁物故者慰霊祭の開催 供養塔を開放して自由参拝として実施 5)心配ごと相談事業を行う                      16件 6)あんしん預かりサービス事業を行う(新規事業)      0 件 7)かぎ預かり事業を行う(新規事業)                      0 件	1,400,000 — — 20,000 — — —	1,209,250 — — 5,500 — — 40,955
	6 介護入門的研修の開催 1)介護未経験者が介護に関する基本的な知識や技術を学び介護分野への参入のきっかけを作るため介護入門的研修を開催した。	206,000	101,371

# 令和6年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位:円)

サービス区分	事業内容	予算額	決算額
	<p>①介護入門的研修事前説明会 5月10日(金) 参加者13名(26名)</p> <p>②介護入門的研修 6月10日(月)～7月5日(金) 参加者10名(15名)</p>		
	<p><b>7 生活援助従事者研修の開催</b></p> <p>1)家事援助を中心としたサービスの担い手を育成するための生活援助従事者研修を開催した。 7月15日(月)～8月27日(火) 参加者9名(14名)</p>	227,000	150,287
	<p><b>8 介護職員初任者研修の開催</b></p> <p>1)高齢者支援を行うために必要な知識、技能を修得するための介護職員初任者研修を開催した。 9月11日(月)～3月18日(火) 参加者9名(11名)</p> <p>2)介護職員初任者研修継続研修会(福祉セミナー) 映画「ぼけますから、よろしくお願いします。 ～おかえりお母さん～」上映会並びに信友監督講演会 「認知症の母が、命がけで教えてくれたこと。」 8月24日(土) 白老町中央公民館講堂 参加者333名(281名)</p>	823,000	803,248
	<p><b>9 障がい児・者福祉活動支援事業</b></p> <p>1)町内の障がい福祉団体を支援した。 ①身体障害者福祉協会白老町支部 ②しらおい障がい者と手をつなぐ会 ③北海道難病連白老支部</p>	156,000	156,000
	<p><b>10 児童・青少年福祉活動支援事業</b></p> <p>1)町内の児童・青少年福祉団体を支援した。 ①社会を明るくする運動実行委員会</p>	29,000	29,000
	<p><b>11 ボランティア活動育成事業</b></p> <p>1)ボランティア団体の活動を支援した。 ①白老町婦人ボランティアグループ ②ヘルム39 ③白老小学校青少年赤十字 ④はっぴー♡ふまねっとクラブ白老 ⑤白老町認知症の人と家族などの会</p> <p>2)ボランティアスタートアップ支援事業 白老町内に拠点を置き、新たにボランティア団体等を設立し地域に根差した事業への取り組みをはじめようとしている団体を支援した。</p>	162,000  60,000	162,000  0
	<p><b>12 社協活動啓発事業</b></p> <p>1)社協だより「ほほえみ」の発行 社協だより「ほほえみ」を年4回発行し、社協活動の理解と協力を求めた。(5月、7月、10月、1月発行)</p>	935,000	846,139

# 令和6年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位:円)

サービス区分	事業内容	予算額	決算額
	<p>2)福祉パネル展の開催、社会福祉功労者表彰を通して福祉に対する理解と啓発を図った。</p> <p>①福祉パネル展 3月10日(月)～3月15日(土) いきいき4・6ロビー</p> <p>②社会福祉功労者表彰(白老町社協会長表彰)表彰式 日 時:3月25日(火) 10:00～ (評議員会席上) 会 場:白老町総合保健福祉センター 三世代交流センター 受賞者:表彰(個人)18名 感謝(個人)2名</p> <p>3)社協ホームページやブログの更新 社協ホームページやブログで活動内容を紹介し、広く理解と協力を求めた。</p>	176,000	172,005
	<p><b>13 サロン開催事業</b></p> <p>①ふれあいサロンの開催 地域の高齢者や障がい者、子育て世代の方を対象に生きがいや仲間づくり、また、心と身体のリフレッシュを図ることを目的に開催した。</p> <p>1)ふれあいサロン×とくいの銀行「第8回ひきだしイベント」 「とくいの食堂」 4月23日(水) カフェ結 参加者25名</p> <p>2)ふれあいサロン×とくいの銀行「第10回ひきだしイベント」 「七ツ会」 8月8日(木) 白老大町商店街 参加者17名</p> <p>3)「ポロトミンタラフェスティバル」出店 7月20日(土)～21(日) ポロトミンタラ 延3,700名参加</p> <p>4)「寿幸園夏祭り」出店 8月2日(金) 寿幸園玄関前ロータリー周辺</p> <p>5)ふれあいサロン×とくいの銀行「第12回ひきだしイベント」 「とくいの食堂」 12月18日(水) カフェ結 参加者21名</p> <p>6)ふれあいサロン×とくいの銀行「第13回ひきだしイベント」 「ゲームで遊ぼう」 2月19日(水) カフェ結 参加者5名</p> <p>②子育てサロンの開催 白老町内で子育てサロンを開催し子育て中の親子の交流を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月 7日(日) 白老地区 参加者50名(3名)</li> <li>・ 9月 6日(金) 白老地区 参加者45名(28名)</li> <li>・ 11月17日(日) 白老地区 参加者51名(118名)</li> <li>・ 2月 2日(日) 白老地区 参加者66名(30名)</li> </ul> <p>③認知症の人を支える家族などの集いの開催</p> <p>5月13日(月) 11:00～14:00 いきいき4・6三世代交流センター 参加者25名(24名)</p> <p>8月 8日(木) 11:00～14:00 いきいき4・6三世代交流センター 参加者17名(19名)</p> <p>12月10日(火) 11:00～14:00 いきいき4・6三世代交流センター 参加者24名(21名)</p>	188,000	160,000
		100,000	100,000
		50,000	20,000

# 令和6年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位:円)

サービス区分	事業内容	予算額	決算額
	3月 7日(金) 11:00~14:00 いきいき4・6世代交流センター 参加者36名(20名) 9月20日(金) 世界アルツハイマーデー街頭PR活動 町内小売店3店舗前 参加者6名 ④認知症介護者リフレッシュ事業の開催、家族等の休息や悩み ごとの解決の支援 10月23日(水) 10:00~15:00 虎杖浜温泉ホテル 参加者13名(7名)	63,000	34,761
	<b>14 資金貸付相談事業</b> 1)高齢者や障がい者、低所得世帯を対象に資金を貸付し 安定かつ自立した生活を送るための支援をした。 ① 生活福祉資金貸付相談(道社協受託金) 生活福祉資金貸付相談を行い福祉向上に努めた。 143件(164件) ② 応急生活資金貸付 応急生活資金貸付を実施し、低所得者の福祉向上を図っ た。 20件(34件) ③ 生活福祉資金特例貸付債権管理(道社協受託金) 244件(275件)	184,600 1,100,000 2,400,000	184,600 387,000 2,400,104
	<b>15 日常生活自立支援事業</b> 1)北海道社会福祉協議会が実施している日常生活自立支援 事業を実施した。 利用者 8名(継続7名、新規3名、終了2名) 2)権利擁護事業を担う支援員の募集、育成を図った。 登録者6名(継続5名、新規1名)	120,000	295,000
	<b>16 防災事業</b> 1)災害ボランティアセンターの運営準備を行った。 2)災害ボランティアの事前登録を行った。 3)町民防災講座の開催 「誰一人取り残さない防災に向けて私たちが考えるべきこと」 白老町防災交通室 室長 高野 基哉氏 余市町危機管理対策室 室長 岡 欣司氏 苫小牧市社会福祉協議会 総合支援室 室長 千寺丸 洋氏 11月19日(火)13:30~16:00 参加者95名(57名)	100,000	100,000
	<b>17 法人運営事業</b> 1)理事会・評議員会、各委員会の開催 ① 理事会 年6回 4月19日(金) 書面開催 6月 7日(金) 7月31日(水) 書面開催 10月21日(火) 書面開催	40,000	35,570

# 令和6年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位:円)

サービス区分		予算額	決算額	
事業内容				
	12月 5日(火) 3月14日(金) ② 評議員会 年3回 6月25日(火) 10月28日(月) 書面開催 3月25日(火) 2)研修会等に参加し、役職員の資質向上を図った。 全道市町村社協会長・事務局長研究協議会 他 6月3日(月)～4日(火) 札幌 池田事務局長参加 3)町民に社協活動の理解を広げ、事業や活動に賛同をいただき、会員の加入促進を図った。 ①会員会費 6,433戸1,296,670円 (6,744戸1,348,800円) ②賛助会費 493口 382,000円 (647口 434,600円) 4)地域福祉活動に有効活用する貴重な浄財の受付 ①一般寄付金 14件 323,286円(11件 314,077円) ②弔慰寄付金 7件 220,000円( 8件 350,000円) ③指定寄付金 0件 0円 ( 0件 0円) 5)非常災害時の事業継続・早期復旧体制などの検討・確立	106,000	13,500	
		1,800,000	1,678,670	
		710,000	543,286	
	18 地域福祉実践計画の策定(新規事業) 1)白老町社会福祉協議会が地域福祉を計画的に推進するため、2025年度から2029年度までの5カ年の第6期地域福祉実践計画を策定した。 計画策定に当たっては、白老町地域福祉計画と協働して作成した。	132,000	4,390	
	19 生活困窮者支援のための事業 1)生活困窮者への緊急支援活動助成事業(北海道補助金) 社会情勢の様々な要因により、経済的困窮・社会的孤立の状態にある方を対象に生活相談時に食料等を配布し、緊急的な支援を行った。	500,000	500,000	
ボランティアセンター事業				
	1 ボランティア運営委員会開催事業 1)ボランティア活動の推進に関わる様々な事業の運営についてボランティア登録団体等が参画し協議した。 年2回 5月31日(金)いきいき4・6 三世代交流センター 3月 8日(金)いきいき4・6 研修室3・4	50,000	5,510	
	2 ボランティア育成・交流事業 1)ボランティア体験学習の実施 ①ちょびっとボランティア「車いすバスケット体験」 9月15日(土) 北海道白老東高等学校体育館 参加者13名(18名)	80,000	80,000	

# 令和6年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位:円)

サービス区分	事業内容	予算額	決算額
	<p>②ちょびっとボランティア「盲導犬を知ろう！」 1月18日(土) いきいき4・6世代交流センター 参加者32名(20名)</p> <p>2)ボランティア出前講座の開催 実施件数8件(11件) 参加者107名</p> <p>①社会福祉の仕事・資格について 高 校 2件 ②点字点訳体験 高 校 1件 ③高齢者疑似体験 小学校 3件 ④視覚ガイドヘルパー体験 小学校 1件 ⑤エンディングノート講座 一 般 1件</p>	30,000	30,000
	<p><b>3 カレンダーリサイクル事業</b> 益金 254,438円(213,900円) 愛の小箱募金へ 企業・団体・個人 92件 5,900点(81件5,621点)</p>	25,000	19,635
	<p><b>4 愛の小箱募金及びリサイクル収集事業</b></p> <p>1)愛の小箱募金 35件 115,540円 (32件86,144円) 2)物品預託 27件 14,071点 (17件12,087点) 3)リングプル 40件 194.4kg (29件 94.9kg) 4)ペットボトルキャップ 72件 685.8kg (72件 769.4kg) 益金15,206円 世界の子どもにワクチンを日本委員会へ 5)使用済み切手 8件 1,123.8g (5件 1,322g) 6)ベルマーク 0件 0g (1件 50g) 7)その他 1件 30点 (4件 4,002点)</p>	—	—
<b>受託事業</b>			
	<p><b>1 白老町受託事業</b></p> <p>1)腎臓機能障がい者通院支援事業 腎臓機能障がい者通院支援事業を受託し、病院への通院を支援し患者や家族の負担軽減と健康の維持増進を図った。 登録者数 21名 (18名) 延べ移送患者数 5,461名(4,947名) 1日平均利用者 17.5名 (15.8名)</p> <p>2)高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業 高齢者世話付住宅に居住する高齢者に対し生活援助員派遣の受託を受け、入居者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう支援した。 入居世帯 11世帯(11世帯)</p> <p>3)生活支援コーディネーター事業 地域特性に応じた生活支援体制の構築に向けた環境整備の推進を行った。 シルバー世代のための暮らしの便利帳作成、地域の各種サロン活動・集いの場への活動支援 他 令和6年度サロン申請計画数12団体に対し申請12団体</p>	13,214,000	13,218,991
		1,517,000	1,517,000
		5,738,000	5,737,800

## 令和6年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位:円)

	サービス区分	事業内容	予算額	決算額
		4)2024認知症フォーラムinしらおい開催事業(新規) 新しい認知症観の醸成や認知症に対する正しい理解を深めることを目的に認知症フォーラムを開催した。 テーマ:「認知症になっても住み慣れた街で暮らすために」 日時:12月14日(金) 白老町中央公民館 ①オンライン講演 「認知症になった蛭子能収さんが本音を語る！」 講師 漫画家・タレント 蛭子 能収 氏 マネージャー 森永 真志 氏 ②認知症本人大使によるトークセッション 講師 ほっかいどう希望大使 松本 健太郎 氏 ほっかいどう希望大使 横山 弥生 氏 ファシリテーター 砂川市立病院 大辻 誠司 氏 参加者155名(一名)	500,000	413,224